

— 経営理念 —

ともに挑み ともに繋ぐ

常にお客様目線で上質な価値を創出する

— 行動指針 —

私たちは、全ての仲間と手を取り合い、
創出する喜びを分かち合います。

私たちは、失敗を恐れず、
常にチャレンジャーであり続けます。

私たちは、お客様と誠実に向き合い、
信頼される存在を目指します。

私たちは、こだわりと思いやりをもって、
心地良さの実現を追求します。

私たちは、法とその精神を守り、
安心・安全なものづくりを約束します。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告方法 電子公告
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告
できない場合は、日本経済新聞

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)



Interim Business Report

第106期 中間報告書

平成28年4月1日～平成28年9月30日



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

株主の皆さまには格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第106期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の営業概況等につきご報告申し上げます。

平成28年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済対策などを背景に、所得や雇用環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、企業の収益環境は、為替相場の円高基調に加え、英国のEU離脱問題に伴う欧州情勢不安への懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、国内における新車登録台数は前年同期と比べ増加しており、海外においても、北米や中国における増産などを受け、世界の自動車生産台数は前年同期を上回りました。住宅産業につきましては、マイナス金利に伴う住宅ローン金利の低下などを背景として、新築住宅着工戸数は前年同期を上回りました。エレクトロニクス産業につきましては、スマートフォン市場の成長鈍化や円高に伴う価格競争力の低下など、引き続き厳しい市場環境となりました。

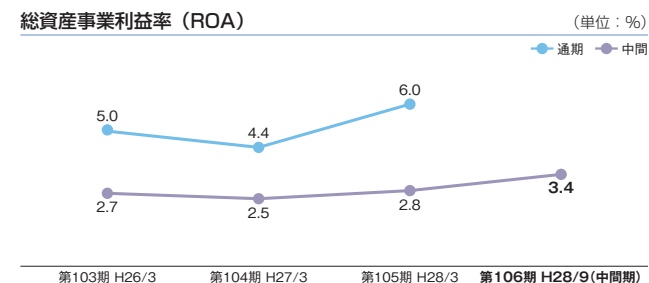
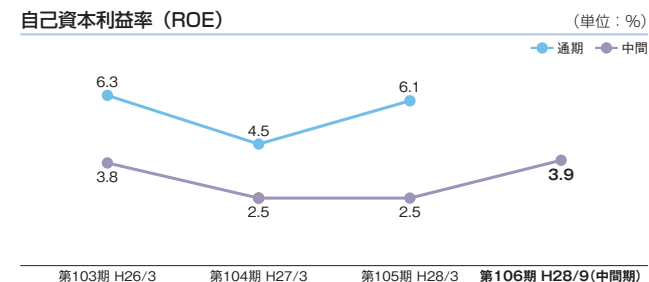
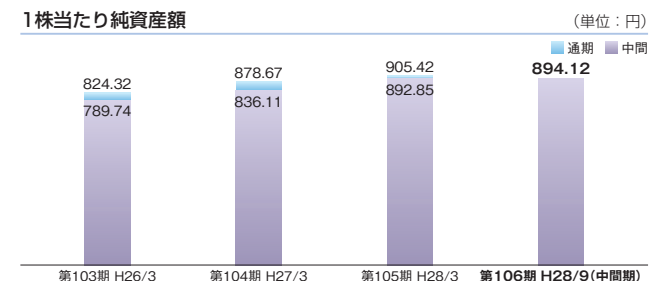
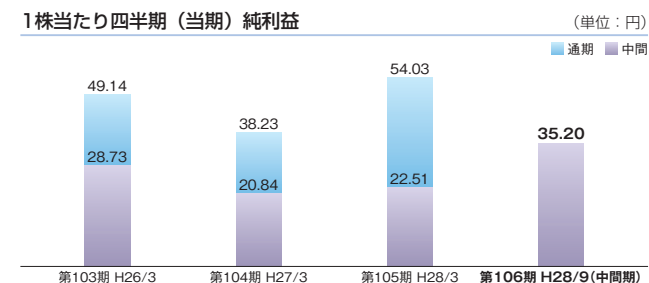
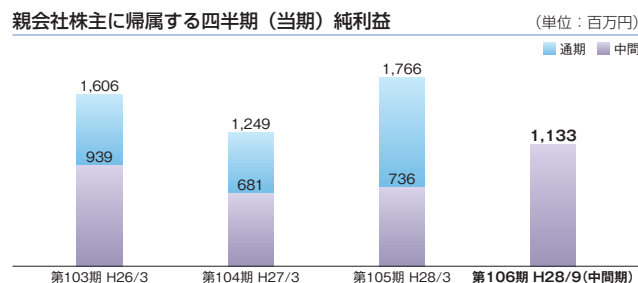
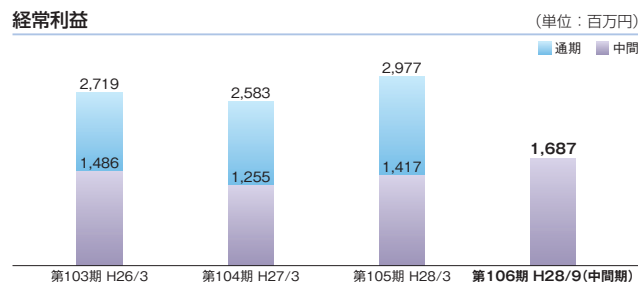
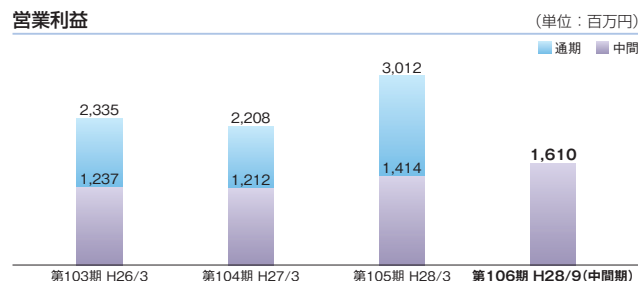
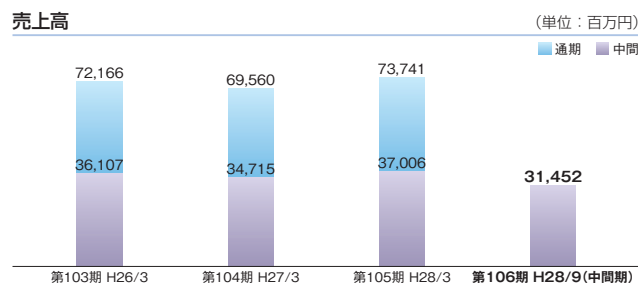
このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は314億5千2百万円（前年同期比15.0%減）となり、営業利益は16億1千万円（同13.9%増）、経常利益は16億8千7百万円（同19.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億3千3百万円（同54.0%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **加藤 大輔**

Financial Highlights

連結財務ハイライト



Segment Review ※

(単位：百万円)

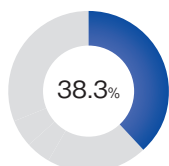
コーティング事業



主要分野

自動車内装分野、自動車外装分野、
自動車電装部品分野、
容器関連分野、携帯電話分野、
家電分野、ホビー分野、
農業資材分野

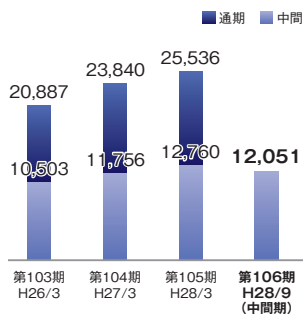
プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、国内市場においては、自動車向け市場が底堅く推移し、前年同期と比べ横這いで推移いたしました。海外市場においては、米国の連結子会社であるレッドスポット社の業績が円高の影響を受けるなど減収となりました。



売上高構成比

売上高
120億5千1百万円
(前年同期比5.6%減)

セグメント利益
11億9百万円
(前年同期比19.2%増)



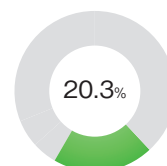
塗料事業



主要分野

外装建材分野、
内装建材分野、
エクステリア材分野、
住宅設備分野

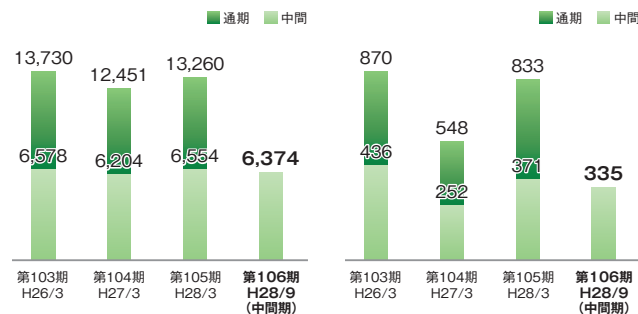
建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、リフォーム向け市場の伸長があったものの、新築向け市場における施工棟数の減少などにより、売上高は減少いたしました。



売上高構成比

売上高
63億7千4百万円
(前年同期比2.7%減)

セグメント利益
3億3千5百万円
(前年同期比9.6%減)



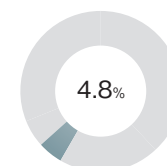
電子材料事業



主要分野

通信機器分野、
表示体分野、
家電分野、
車載用電子機器分野、
OA機器分野

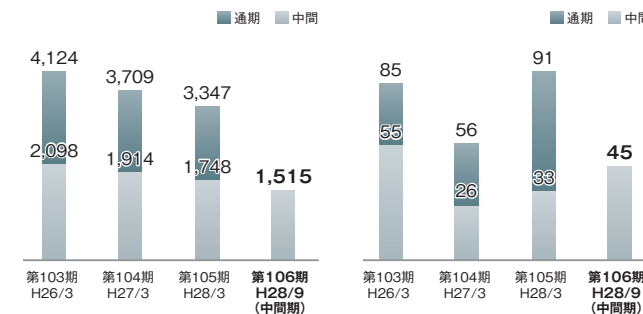
導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、海外向け市場において、円高に伴う価格競争力の低下などにより苦戦が続いており、売上高は減少いたしました。



売上高構成比

売上高
15億1千5百万円
(前年同期比13.3%減)

セグメント利益
4千5百万円
(前年同期比38.3%増)



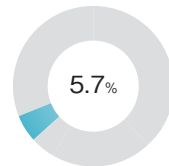
化成品事業



主要分野

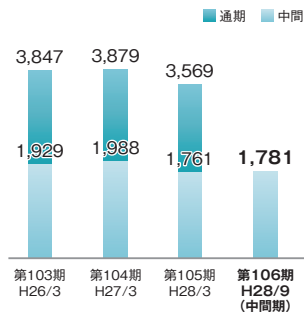
トナー用樹脂分野、
電荷制御剤分野、粘・接着剤分野、
ディスプレイデバイス分野、
医療材料分野、
電子部品関連分野

トナー用レジンを樹脂ベース（『アクリベース』）などを取扱う化成品部門におきましては、トナー用レジンの需要の伸び悩みがあったものの、粘着剤分野や医療材料分野における需要の伸長があり、売上高は増加いたしました。

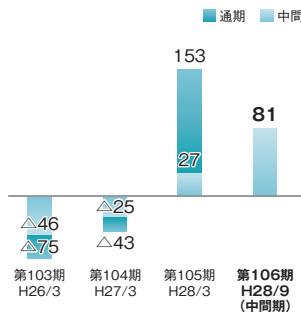


売上高構成比

売上高
17億8千1百万円
(前年同期比1.1%増)



セグメント利益
8千1百万円
(前年同期比205.3%増)



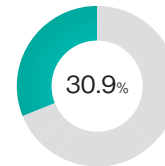
合成樹脂事業



主要分野

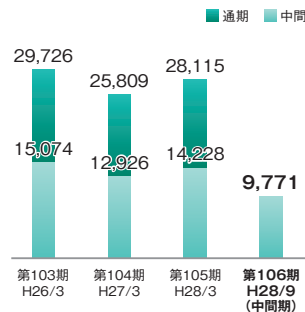
高機能光学材料分野、
工業用銘板分野、
産業資材分野

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、主に海外向けの液晶テレビ用途の関連製品における需要が技術革新などに伴って大幅に減少したことなどから、売上高は前年同期を大きく下回りました。

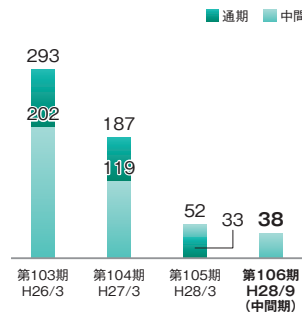


売上高構成比

売上高
97億7千1百万円
(前年同期比31.3%減)



セグメント利益
3千8百万円
(前年同期比27.1%減)



会社概要 (平成28年9月30日現在)

会社名 藤倉化成株式会社
本店所在地 東京都板橋区蓮根三丁目20番7号
本社事務所 東京都港区芝公園二丁目6番15号
設立 昭和13年9月22日
資本金 53億5千2百万円
従業員数 連結 1,283名
単体 398名
連結子会社数 国内 4社 海外 15社
ホームページ <http://www.fkkasei.co.jp>

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数 84,000,000株
発行済株式の総数 32,716,878株
株主数 3,991名

※セグメント区分等の変更について

第106期を初年度とする3ヶ年の「第9次中期経営計画」をスタートしたことに伴い、今期よりセグメント区分を見直し、従来の「化成品事業」と「機能材料事業」を統合し、「化成品事業」といたしました。これにより、「コーティング事業」「塗料事業」「電子材料事業」「化成品事業」「合成樹脂事業」の5区分へ変更いたしました。過年度の売上高・セグメント利益につきましては、変更後の区分方法等により作成したものを記載しております。

なお、セグメント利益とは、各セグメント区分ごとの営業利益の数値となります。